

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 未来人材課	松尾 由美
施策名	1 将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進	事業群関係課(室)	学事振興課、高校教育課、統計課	
事業群名	② 高校生の県内就職の促進・支援	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	125,327

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
キャリアサポートスタッフ等による生徒や保護者に対するきめ細かな対応や、県内企業等の魅力発信等を一層充実するとともに、進学希望者の多い普通科高校を含めた県内各高校を対象とした企業説明会の開催などにより、生徒と企業が直接接する機会をさらに確保します。						i) キャリアサポートスタッフ等によるきめ細かな就職支援など、高校生の県内就職を促進 ii) 長崎県の暮らしやすさや県内企業の魅力発信など、若者の県内定着に対する理解を促進 iii) 高校と業界団体等との意見交換など、県内就職に関する相互の意思疎通を促進				
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	（進捗状況の分析） 高校との連携による企業説明会や企業見学会の開催など、高校生等に県内企業の魅力を伝える取組や、キャリアサポートスタッフを中心としたきめ細かな就職支援を行った結果、令和6年度（令和7年3月卒業生）の県内就職率は71.8%（速報値）となった。
	県内高校生の県内就職率	目標値①		66.0%	66.5%	67.0%	67.5%	68.0%	68.0% （R7）	
		実績値②	61.1% （H30）	72.1%	69.6%	68.5%	71.8% （速報値）		進捗状況	
		達成率②／①		109%	104%	102%	106%		順調	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等
				R5実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業		他の評価 対象事業 (公共、研究等)				
所管課(室)名			事業対象									
取組項目 1	○	1	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	63,324	63,324	9,191	●事業内容 就職希望者が多い高校にキャリアサポートスタッフ（CSS）を配置するもの。 ●実施状況 CSSを配置し、生徒や保護者に対して県内企業の魅力と情報を提供するとともに、学校内での企業説明会、インターンシップの支援等を実施することで、県内企業への就職を支援した。	【活動指標】	1.8	2.4	133%	●事業の成果 ・CSSによる面談等をきめ細かに実施し、県内企業の情報提供や相談対応などに取り組んだ結果、公立高校生の県内就職割合は69.9%と高い水準を維持することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・公立高校の県内就職率を高い水準で維持したことにより、県全体の県内就職率の目標達成に寄与した。
				78,700	78,700	9,461			1.8	2.4	133%	
				84,539	84,539	9,454			1.8			
				—				【成果指標】	65%以上を維持	67.9	100%	
			H28-R7		65%以上を維持	69.9			100%			
			未来人材課 (高校教育課)	—	—	—		公立学校（高等学校・特別支援学校）の生徒	公立高校生の全就職者に対する県内就職者の割合（％）	65%以上を維持		
	2		私立高等学校県内就職推進事業	19,633	16,933	1,914	●事業内容 私立高校生の県内就職率の向上を図るため、県内就職推進員を配置。 ●実施状況 県内就職推進員を配置し、関係機関と連携した取組として県内企業の情報発信、学校内での県内企業説明会やインターンシップ、卒業生に対するフォローアップ等の教育支援を行った。また、高校1、2年生や保護者を対象とした県内企業説明会を行うことで、県内就職への意識の醸成を早期に図り、私立高校生の魅力ある県内企業への就職を支援した。	【活動指標】	11	9	81%	●事業の成果 ・進路面談の実施や企業見学会、振興局が開催する企業・高校との意見交換会への参加などにより新規企業の積極的な開拓を行い、より多くの県内企業を知る機会を提供した。その結果、県内就職率は76.6%と目標値を達成した。引き続き県内企業への働きかけを行っていく。
				20,079	17,122	1,971			11	9	81%	
				25,000	21,264	1,969			11			
				—				【成果指標】	75	71.7	95%	
			R元-7		75	76.6			102%			
			学事振興課	—	—	—		学校法人（高等学校設置）	私立高校生の全就職者に対する県内就職者の割合（％）	75		

取組項目 i		3	移動理由調査事業費	1,922	1,128	7,659	●事業内容 県内全ての市町と連携し、市町の窓口において転出入者を対象に移動理由アンケートを実施。 ●実施状況 県で回答の集約・集計・分析を行い、その結果を県と市町で共有した。	【活動指標】 アンケートの実施市町数（市町）	21	21	100%	●事業の成果 ・令和6年1月に調査項目の追加・見直し、及び調査票レイアウトの改善を行った。 ・令和5年に実施したアンケートの集計・分析結果を県庁内・市町で共有した。 ・統計的に分析を行うにあたって一定必要なデータが蓄積され、傾向はほぼ一定であったこと、また、調査を終了することについて、県庁内・市町からの合意が得られたことからアンケート調査は令和6年12月までとし、蓄積されたデータを引き続き施策の検討に活用していくこととした。
				1,521	891	7,884			21	21	100%	
			(R6終了)R3-6	—			1	1	100%			
統計課	—	—	—	県内市町の窓口において転出入届を提出する住民								

取組項目 ii iii	○	4	高校生の県内就職促進事業費	20,829	13,382	10,569	●事業内容 企業見学会やインターンシップ等を通して、高校生や保護者が県内企業を知る機会を創出。 ●実施状況 高校が主体となって実施する企業見学会等やインターンシップへの支援を行い、高校生が県内企業を知る機会を創出するとともに、保護者向けに県内就職の魅力や県の支援施策を伝えることで、県内就職に対する意識を醸成した。 また、工業科高校を対象とした広域の合同企業説明会を開催し、県内の製造業・建設業等の企業を広く知る機会を創出したほか、保護者に向けた企業見学会もコースを拡充して実施した。	【活動指標】 生徒や保護者・教員向けの企業見学会等の参加者数（人）	3,200	3,158	98%	●事業の成果 ・説明会に参加した生徒を対象に実施したアンケートでは、説明会を機に、県内企業も就職先の選択肢になったと考えている生徒も多く、県内企業の魅力を伝えることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・これまでの継続的な説明会・見学会等の実施が高い県内就職率へと繋がった。
				25,027	15,683	10,880			3,200	3,926	122%	
				40,067	22,240	13,393			2,700			
			R元-9	—			【成果指標】 県内高校3年生の県内就職希望率（％）	56.4	54.3	96%		
			未来人材課	—	—	—	高校生・保護者ほか	56.9	54.3	95%		
					57.4							

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i キャリアサポートスタッフ等によるきめ細かな就職支援など、高校生の県内就職を促進（高校教育課作成）	
●実績の検証及び解決すべき課題 就職希望者が多い高校に配置しているキャリアサポートスタッフ等によるきめ細かな県内就職支援や、学校内での企業説明会、企業見学会等の支援を行ったことなどから、R7.3卒の公立高校の県内就職率は69.9%と高い水準を維持することができた。キャリアサポートスタッフ等によるジュニアオープンカンパニーの連絡調整や、県内企業情報の収集、生徒との面談などの支援が効果的であった。	●課題解決に向けた方向性 現在の取組を継続するとともに、県内就職支援の取組をより強化するために、未来人材課及び高校教育課職員がキャリアサポートスタッフ配置校を定期的に訪問し、情報共有と適切な指導助言を行う。また、年に3回実施しているキャリアサポートスタッフ連携会議の充実を図り、さらなる県内就職支援に努める。
ii 長崎県の暮らしやすさや県内企業の魅力発信など、若者の県内定着に対する理解を促進	
●実績の検証及び解決すべき課題 県内企業を知る機会を創出し、多くの生徒に県内企業の魅力を伝えることができ、県内就職率も71.8%（速報値）と目標を上回った。一方で、保護者向け企業見学会などの参加者が伸び悩んだため、より多くの保護者にも県内企業の魅力を知っていただくことが課題である。	●課題解決に向けた方向性 高校生へ県内企業の魅力を伝えるためには継続して実施していくことが重要である。また、保護者が参加しやすい企業見学会とするために、時期や内容を検討していく。
iii 高校と業界団体等との意見交換など、県内就職に関する相互の意思疎通を促進（高校教育課作成）	
●実績の検証及び解決すべき課題 長崎県工業連合会と工業高校との意見交換会は、全工業高校から参加し、企業との情報交換ができ県内就職支援につながった。また、就職担当者と企業の名刺交換会や建設業協会との意見交換会の実施により、学校現場と企業の情報交換する機会となった。一方、一部の意見交換会では日程調整や開催時期が遅くなったものがあった。学校現場の状況に応じた検討が必要である。	●課題解決に向けた方向性 生徒が県内企業の情報をより多く、より深く知ることができるよう、今後も対話的な意見交換会や合同企業面談会等を継続的に実施する。また、多くの高校と業界団体が参加できるように早期に日程調整を行い、周知する。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	キャリアサポートスタッフ連携会議の充実を図るとともに、情報共有を行いながら効率的かつ効果的な支援を行う。特に学校現場のニーズに応じ、「特性のある生徒等の就労支援」をテーマに、企業を招いて意見交換等を開催する。	②	未来人材課及び高校教育課と協働しながらキャリアサポートスタッフ配置校を訪問し、県内就職の伴走支援とともに、学校現場の課題把握と取組改善を図る。特に、県内就職支援と早期離職防止に向け、ジュニアオープンカンパニーの拡充や、産学官連携の推進を図り、生徒が対話的・体験的・探究的に県内企業の魅力を知る取組を推進する。	改善
			H28-R7				
			未来人材課 (高校教育課)				
取組項目 ii		2	私立高等学校県内就職推進事業	引き続き求人開拓に力を注ぎ、積極的に訪問活動を行っている。	—	県内就職推進員との連携会議をもとに、効果が上がった取組について学校間の情報共有を行い、効率的かつ効果的な支援に努める。また、県内就職推進員の取組にあたり働きやすい環境づくりのため、必要に応じ学校へも指導・助言を行う。	現状維持
			R元-7				
			学事振興課				
取組項目 iii	○	4	高校生の県内就職促進事業費	工業科の生徒を対象に実施していた広域合同企業説明会を拡充し、工業科以外の生徒も対象とする。保護者向けの企業見学会について、保護者の参加しやすい時期・日程を考慮し企画していく。	②	高校生やその保護者に直接働きかける本事業は、事業群指標の目標達成のために重要であることから、生徒や学校の意見を踏まえながら引き続き実施していく。	改善
			R元-9				
			未来人材課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点